

❁ いわくに市議会だより

No. 69

令和6年2月発行



シー See議会



「高校生と岩国市議会との座談会」

紙面のQRコードをスマートフォンなどで読み込んでいただくと、より詳細な内容を御覧いただけます。

撮影場所：岩国市議会議場
撮影：岩国青年会議所
(公募写真)

目次 (主な内容)

市議会ハイライト	2	一般質問	7～9
議員提出議案	3	研修会の報告、高校生との座談会の報告	10
常任委員会審査報告	4～5	行政視察の報告、意見交換会・企業訪問の報告	11
議案の賛否	6	次回定例会の予定、編集後記	12

市議会ハイライト

11月 臨時会

副議長を選挙、各常任委員・議会運営委員を選任し、議員からの監査委員の選任同意。

11月臨時会は、11月16日に開催されました。報告が3件なされた後、議案が1件上程され、総務常任委員会で審査後、本会議で可決されました。

次に、辞職に伴う副議長の選挙がなされるとともに、各常任委員・議会運営委員を選任しました。続いて、議員からの監査委員の選任に係る議案が上程され、議会として同意し、閉会しました。



議長 桑原敏幸



副議長 松川卓司



監査委員 武田伊佐雄

12月 定例会

中山間地域振興施策調査特別委員会を設置し、議案29件を可決。

12月定例会は、11月28日に招集され、12月22日までの25日間の会期で開催されました。定例会の初日には25議案が上程されました。(うち1議案は撤回)

一般質問は、12月7日から12日までの4日間で、20人の議員が登壇して行い、12日には、補正予算を含む3議案が新たに上程されました。各常任委員会は14日から19日までの4日間で開かれました。

最終日には、議案27件及び議員提出議案2件を原案どおり可決するとともに、中山間地域振興施策調査特別委員会が設置されました。

ピックアップ ①

持続可能な地域を目指し、中山間地域の振興施策を調査する特別委員会を設置

市民共有の貴重な財産である中山間地域の豊かな自然や魅力ある地域資源・文化を次世代につないでいくため、生活環境の整備及び基幹産業である農林水産業の振興等の諸問題を調査する中山間地域振興施策調査特別委員会を設置。

ピックアップ ②

物価高騰などに対応する支援策についての予算を可決

その1 エネルギー・食料品等の物価高騰による負担増に対応した給付金を支給

・物価高騰対応重点支援給付金支給事業

(臨時交付金) 13億7,151万2,000円

電力・ガスをはじめエネルギー・食料品等の物価高騰による負担増に対応するため、家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり7万円の給付金を支給する。

その2 消費喚起により地域経済の活性化を図るため、プレミアム商品券を発行

・岩国市プレミアム商品券発行事業

(臨時交付金) 9億3,569万円

物価高騰の影響を受けている市民や事業者を支援し、消費喚起による地域経済の活性化を図るため、プレミアム率80%の「いわくに地域応援商品券」を発行する。

議員提出議案について

12月定例会において可決された議員提出議案2件を紹介します。

1 議員提出議案第9号

岩国市議会議員の議員報酬、費用弁償及び 期末手当に関する条例の一部を改正する条例



《提案説明》 憲政会 貴船 齊議員

本議案は、特別職の国家公務員の給与改定に伴い、市議会議員の期末手当の支給割合を改定することについて、規定の整備を行うため、提案するものである。

改正の内容としては、議員に対して支給する期末手当について、第1条では、令和5年12月支給分として、一時的に1.65月分を1.75月分に引き上げ、第2条では、令和6年6月支給分からは1回の支給割合を1.70月分に改定することとしている。

2 議員提出議案第10号

中山間地域振興施策調査特別委員会の設置について



《提案説明》 志政いわくに 藤本泰也議員

広大な市域の大半を中山間地域が占める岩国市において、8市町村の合併によるメリットを実感できる広域的なまちづくりの実現を目指し、岩国市議会では、平成25年6月に「岩国市中山間地域振興施策基本条例」を立案・制定している。

この基本条例により、市は基本計画を定めて、中山間地域の活性化を図るための施策を総合的、計画的に実施するとともに、議会に対し、施策の実施状況等を報告し、これを公表する旨、定められたところである。

しかしながら、この基本条例が制定されて10年が経過し、その間、中山間地域の状況は大きく変化し、特に少子高齢化に伴う人口減少が急速に進む中、集落の維持が難しい地域や新たな過疎地域もできている。

その一方で、農業の効率性や生活サービス、交通手段などの課題において、地域資源やデジタル技術を活用し、多様な内外の人材を巻き込みながら解決に向けて取組を進めていくという、関係省庁が連携して指導する新しいプロジェクトが全国で展開されている。

時代が変化しても、中山間地域は、水源かん養・災害防止・食料の安定供給・豊かな自然とのふれあいの場等、多面的な機能を有し、市民共有の貴重な財産であり、豊かな自然や魅力ある地域資源・文化を次世代につないでいかなければならない。

そのような状況を踏まえ、持続可能な地域を目指して、生活環境の整備及び基幹産業である農林水産業の振興等の諸問題を改めて調査するため、中山間地域振興施策調査特別委員会の設置を提案する。



常任委員会審査報告

経済常任委員会

委員長 丸茂 郁生 委員 片岡 勝則・中村 豊
副委員長 小川 安士 委員 広中 英明・藤本 泰也
細見 正行



議案

第75号

令和5年度岩国市一般会計補正予算
(第5号) について

問 農業水路等長寿命化・防災減災事業に関し、事業内容について問う。

答 県が実施する防災重点農業用ため池の耐震化工事の一環として、美和町の小田ため池と周東町の小祖生畑ため池の2か所を対象とした事業である。

問 ため池の安全性の確保が全国的な課題となっており、山口県も取組を強化しているが、本市では、このほかにどのような取組があるのか。

答 令和2年度と令和3年度に、本郷町の岡の迫ため池と玖珂町の西ヶ浴ため池において、農業用としての利用がないため、切下げ・切開の工事を実施した。今後については、由宇町の西城ため池で切下げ・切開を計画している。



意見 地元の方からは、離農対策として、水路の改修に対する補助内容を拡充してほしいという要望が出ているため、今後も制度の調査・研究をお願いしたい。

教育民生常任委員会

委員長 瀬村 尚央 委員 石原 真・川口 隆之
副委員長 野本真由美 委員 長岡 辰久・姫野 敦子
松川 卓司



議案

第75号

令和5年度岩国市一般会計補正予算
(第5号) について

問 放課後児童教室の待機児童が解消されていない中、本来であれば放課後支援員を増員しなければならぬと考えられるが、なぜ放課後支援員の報酬が減額となっているのか。

答 待機児童が発生する主な理由は、場所が確保できないために児童を受け入れることができないことにあり、支援員の増員による対策では解消が困難である。一方で、愛宕地区及び東地区においては場所を確保できたため、施設を開設するための補正予算を計上した。

問 学校の余裕教室を放課後児童教室として活用することについて問う。

答 現在、余裕教室を積極的に活用しているものの、セキユリティー等の条件から活



用は校舎の1階の余裕教室に限定されており、これ以上の対応は困難。学校からあまり離れていない場所で、収容人数などの条件が合う物件の活用を検討しており、例えば岩国小学校などは空き店舗に教室を設けている。

※常任委員会とは

議会の内部機関である常任委員会は、本会議から付託された事件などの審査を行い、その経過及び結果を本会議で報告する。

QRコードから委員会審査報告の全文が御覧いただけます

建設常任委員会

委員長 桑田 勝弘 委員 植野 正則・桑原 敏幸
副委員長 中村 恒友 重岡 邦昭・藤重 建治
山本 辰哉



議案

第83号

岩国市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例について

問 本条例の対象となる事業の規模について問う。

答 発電出力500キロワット以上の規模の施設を規制対象と定める予定であり、太陽光発電は約0.5ヘクタールの規模の事業を想定している。

問 要件を定める規則はいつ頃に制定されるのか。また、既に実施されている事業の取扱いについて問う。

答 条例の施行日である令和6年1月1日に間に合うようにお示ししたい。既に実施されている事業については、今後、地位の承継や事業の終了などの際に届け出ていただくことになる。

意見 大規模な施設の維持管理や廃止については、近隣の地域住民が安心できるように、

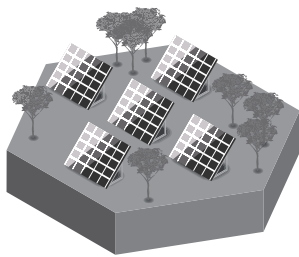
適切に条例を運用していただきたい。

討論

安全に関わる問題という認識の下で、この条例のさらなる深化を期待し賛成する旨の討論があり、全会一致で可決。

附市決議

再生可能エネルギー発電事業を適地に誘導するため、独自課税の導入等について研究・検討を行うことを強く求める旨の附帯決議案が提出され、附帯決議を付すことに決した。



総務常任委員会

委員長 矢野 匡亮 委員 石本 崇・貴船 齊
副委員長 奥江 徳成 武田伊佐雄・広中 信夫
松田 一志



議案

第75号

令和5年度岩国市一般会計補正予算(第5号)について

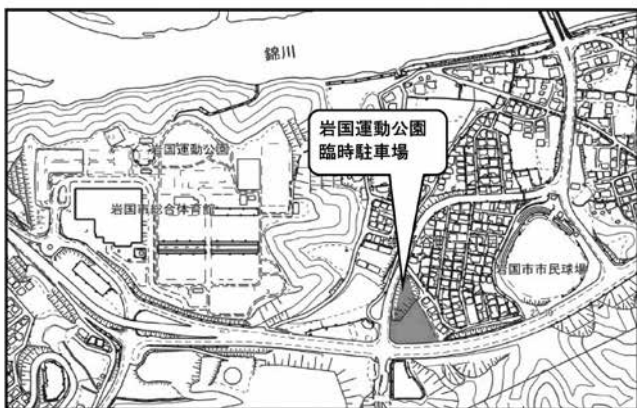
問 岩国運動公園整備事業の概要について問う。

答 米軍家族住宅北ゲート付近に位置する、岩国運動公園の臨時駐車場を整備するもので、未舗装部分のアスファルト舗装や駐車線の区画線を引くなどの整備を行いたい。

問 当該土地は、国が日米合同委員会合意に基づいて米軍に提供した区域に入っているが、臨時駐車場として使用するに当たり問題はないのか。また、米軍が立入禁止の看板を設置しているが、将来的に取り外してもらえるのか。

答 市が使用することについては、日米合同委員会において共同使用の合意がなされ、国から市に対して使用許可が出ている。また、看板については、米軍への提供用地であ

ることの注意喚起として設置されたものと認識しているが、利用者が混乱しないよう、臨時駐車場の看板設置に併せて中国四国防衛局に相談したい。



一般質問

市政を聞く

12月定例会では、20人の議員により、市政全般にわたる幅広い質問が行われました。

※議員名に隣接したQRコードから、一般質問の動画を御覧いただけます。

こちらから詳細な質問内容を御確認いただけます。



会派代表質問



植野 正則
(憲政会)



問 本市の物価高騰対策について

答 プレミアム商品券発行等で対応する

国際的な原材料価格の上昇に加えて円安の影響から日本経済を取り巻く環境に厳しさが増している。国では補正予算によって「物価高から国民生活を守る」政策として電気・ガス料金等の激変緩和措置の継続とともに低所得世帯への支援が行われる。

低所得世帯支援策は、さきの1世帯当たり3万円に加え、今回は1世帯当たり7万円を追加することで住民税非課税世帯1世帯当たり合計10万円の支援策となる。また、市の実情に応じて活用できる重点支援地方交付金が追加交付される。市は交付金を活用して、物価高騰の影響を受けている市民や事業者を支援し、消費喚起による市内経済の活性化を図ることを目的として、プレミアム率80%のプレミアム商品券を一世帯当たり3セットを限度に発売することとしている。

会派代表質問



石本 崇
(志政いわくに)



問 美和のメガソーラーは裏の話がある

上海電力日本が事業主である美和町のメガソーラーについて、週刊誌が初代の社長に取材したところ、「あの案件には裏の話があり、ああいう形はどうかなと思う」との発言があったが、真意はいかに。

答 担当者は承知していないと発言

担当者に確認したが、承知していないとのことだった。

その他の質問

問 今定例会で上程されている、いわゆる再エネ条例に定めてある抑制区域に、計画されている風力発電事業区域は当たるのか。

答 自然環境や景観、歴史的・文化的特色の保全、災害等に関する関連法令に規定された区域について指定することとされている。この風力発電事業の区域は、森林法や県条例に指定される保安林や名所があり、抑制区域に当たるものと考えられる。

会派代表質問



中村 豊
(公明党議員団)



問 多子世帯における保育料無償化について

多子世帯においては物価高の影響もあり、子育てに係る負担は大きいものと思われる。子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、保育所等を利用しやすい支援として、第2子以降の保育料無償化を実施すべきと考えるが、見解を問う。

答 総合的な子育て支援の1つとして前向きに検討しよう

子育て世帯が安心して、理想とする人数の子供を持つことは大変重要であると認識している。物価高騰は、第2子以降を持つことを考える子育て世帯に影響を与えていると思われる。第2子以降の保育料を無償化することは、多子世帯の負担を軽減し、また、これから複数の子供を考えている世帯への大きな支援になり得るものと考えられる。今後、総合的な子育て支援の一つとして前向きに検討していく。

会派代表質問



小川 安士
(日本共産党市議員団)



問 高校生の医療費無料化を実現しよう

高校生の医療費無料化は、所得制限なしで自己負担金を助成する自治体が増えていく。岩国も早期実現してほしい。

答 格差なしが望ましいので、中学までを維持する

どこでも負担に差がないことが望ましい。全国一律の制度を目指す。

その他の質問

問 国民健康保険料の統一化で保険料が大幅に高くなりそうだが、今後のスケジュールはどうなるか。

答 令和12年度には県が事業費納付金ベースでの統一を目指す予定である。保険料の県下完全統一については、将来的な検討課題である。

問 玖珂幼稚園は、父母の要望に応え、体制充実することが課題ではないか。

答 引き続き幼児教育の在り方やニーズを踏まえ検討したい。



山本辰哉
(同志会)



問 南岩国駅周辺におけるまちづくりの取組状況について問う。

答 道路や公園の整備、雨水排水対策等についてスピード感をもって取り組んでいく。

問 新スケートボード場を整備検討する過程で、市民や愛好家の意見を聴くことは考えているのか問う。

答 どのようなセクションがよいか等について、市民や愛好家の方との意見交換の場を設けたいと考えている。



奥江徳成
(公明党議員団)



問 2019年度にエンディングノートを作成しているが利用状況と更新版の作成予定はないか問う。

答 3,000部を市民に配布し、活用した。もしもの時に備えて、自分の受けたい医療や介護についての思いや、財産や相続などについて考えられるよう、ホームページにその内容を具体的に示し、エンディングノートとして活用できるようにしたい。



中村恒友
(市民の声をきく会)



問 山口県東部における産業廃棄物処分場の現状と計画について問う。

答 藤生長野バイパス及びバイパス効果を最大限に発揮させるアクセス道路の進捗状況を問う。

問 工事用道路は、灘小・中学校、岩国総合高等学校の通学路で、現状でも危険な道路である。大型工事車両通行に伴う児童・生徒への絶対的安全対策を問う。

答 小規模農家への補助制度による支援については、これまでも幾度となく要望してきた。新年度からの補助制度の実施について強く要望する。



石原 真
(同志会)



問 農業用機械の購入や更新に対する支援を望む声が多いことは承知している。多くの方が活用でき、本市の農業振興につながる支援策となるよう、新年度の実施に向けて、具体的な制度設計を進めていきたい。

答 熊による被害の防止について、「呼び寄せない取組で、放任果樹などの誘因物を放置しないことが重要」だと言われた。問題はお金がかかることから伐採がされず、柿の実などが放置されていることである。他市で実施されている「伐採についての助成制度」の導入について問う。



矢野匡亮
(志政いわくに)



問 藤生長野バイパスの進捗状況。国においても、建設資材等の高騰に伴う事業費への影響は生じており、橋梁基礎形式の変更を合わせて50億円の事業費の増額が示され、総事業費370億円は妥当と取りまとめられたと聞いています。開通時期は、現時点で国から示されていないが、令和8年度までの4か年で事業用地を先行取得する予定となっている。

問 人工肛門や人工膀胱の造設により必要となる、排泄管理支援用具(ストーマ用具等)の給付基準額が長期にわたり見直されていない。昨今の物価高騰もあり経済的負担が大きく、基準額の見直しが必要。見解を問う。

答 基準額の見直しについて、関係団体からの要望や商品価格の上昇などを考慮しつつ、具体的に検討を進めていく。

問 学校トイレへの生理用品設置の実証事業の結果と今後について問う。



広中英明
(市民クラブ・草の根)



答 アンケート結果を小・中学校に提供し、各学校が実情を踏まえて設置について検討するとともに、将来の自立に向けて、引き続き指導を行うよう依頼する。今後設置する学校には生理用品の寄附の情報を提供するとともに、設置に必要な物品については教育委員会で準備していく。

問 学校トイレへの生理用品設置の実証事業の結果と今後について問う。



桑田勝弘
(公明党議員団)



問 人工肛門や人工膀胱の造設により必要となる、排泄管理支援用具(ストーマ用具等)の給付基準額が長期にわたり見直されていない。昨今の物価高騰もあり経済的負担が大きく、基準額の見直しが必要。見解を問う。

答 基準額の見直しについて、関係団体からの要望や商品価格の上昇などを考慮しつつ、具体的に検討を進めていく。

問 学校トイレへの生理用品設置の実証事業の結果と今後について問う。

答 アンケート結果を小・中学校に提供し、各学校が実情を踏まえて設置について検討するとともに、将来の自立に向けて、引き続き指導を行うよう依頼する。今後設置する学校には生理用品の寄附の情報を提供するとともに、設置に必要な物品については教育委員会で準備していく。



野本真由美
(公明党議員団)



問 学校トイレへの生理用品設置の実証事業の結果と今後について問う。

答 アンケート結果を小・中学校に提供し、各学校が実情を踏まえて設置について検討するとともに、将来の自立に向けて、引き続き指導を行うよう依頼する。今後設置する学校には生理用品の寄附の情報を提供するとともに、設置に必要な物品については教育委員会で準備していく。



松田 一志
(日本共産党市議団)



問 米兵犯罪が11月に連続して3件発生している。再発防止のために岩国日米協議会の開催を求めらる。

答 基地司令官とのホットラインを使って迅速に対応しているので開催の必要はない。

問 オスプレイの墜落原因が究明されるまで飛行停止を日米政府に求めよ。

問 岩国・錦見地域の公共下水道工事の進捗状況を問う。



丸茂 郁生
(志政いわくに)



問 地域の活性化を図れることから、サテライトキャンパスの誘致について問う。

答 大学の誘致の可能性について模索する中で、調査・研究していく。

問 装港小学校の統合について、地域の方々の御要望や様々な課題に誠心誠意応えていただきたい。

答 統合準備委員会を立ち上げ、保護者や学校、地域の方々と協議を進めていく。



細見 正行
(市政改革クラブ)



問 錦帯橋周辺の河川整備について 錦帯橋は山口県東部の主要観光地である。県とともに世界文化遺産登録を目指している。周辺環境の整備は重要である。

答 錦帯橋と河川敷、周辺と一体的な景観の保全と活用を図る。横山地区来訪者が快適に過ごせる。錦帯橋横山側河川敷の遊歩道整備が必要と判断。県と調整し、環境整備に努める。



瀬村 尚央
(憲政会)



問 装港小学校の今後について問う。

答 統合準備委員会にて検討を行う。

問 制服バンクの導入について問う。

答 エコフレンズいわくにで同様のサービス提供を実施している。保護者等への周知に努める。

問 バリアフリーマップの幅広い活用について問う。

答 山口県管理のやまぐち安心おでかけ福祉マップと連携し、充実したマップの提供を検討する。



長岡 辰久
(日本共産党市議団)



問 高台団地の住民は高齢者が多く、団地で管理する私道の補修もままならない。このような私道を市道認定して維持管理してほしいという要望は強い。

答 これまでに32件申請があり、団地で整備され要件を満たされた4件を認定した。上限200万円で舗装工事費等の半額を補助する制度や上限3万円で原材料を支給する制度もある。その他の質問事項
・市職員の女性幹部職員が少ない
・不登校について



姫野 敦子
(リベラル岩国)



問 11月29日、オスプレイが鹿児島に墜落し米軍人8人が犠牲となった。岩国基地は陸揚げや給油の拠点で事故はよそごとではない。市民への事件・事故も増加、市の対応を問う。

答 オスプレイの安全管理の徹底と飛行の安全確保を国を通じて米側に求めた。事件時は情報収集に努め、市長と司令官と防犯パトロールなど啓発活動を実施。市民に寄り添う対応をしたい。



重岡 邦昭
(市民クラブ・草の根)



問 上関町の中間貯蔵施設立地可能性調査に対し、福田市長は近隣市町の住民の不安が解消されておらず、率直に賛成とは言えない。使用済み核燃料の半永久的な保管が懸念されると他市町に比べ一歩踏み込んで異論を唱えたが、その根拠について質した。

問 経済振興策としてプレミアム商品券とリフォーム事業の実施を質した。



貴船 斉
(憲政会)



問 幹線道路の整備状況について。

答 岩国大竹道路と楠中津線は両幹線道路工事ともに順調に進捗している。広く市民を対象に岩国大竹道路の工事現場見学の機会を設けるなどして進捗状況を周知したい。楠中津線は、令和7年度の第1工区供用開始を目指している。本市に様々な効果をもたらす幹線道路ネットワークの整備を一日も早く実現できるように取り組みたい。

公職選挙法(寄附行為の禁止など)に関する研修会【12月12日(火)】

公職選挙法といえば、市民の代表を選ぶ各種選挙において、議員及び有権者の皆様が向き合うことになる身近な法律です。この法律によって、寄附行為や事前運動などの禁止事項や配慮すべきことなどが定められています。岩国市議会においても、この法律の内容を今一度確認し、理解を深めるため、研修会を開催しました。

寄附行為の禁止における主なポイントは、次の3つです。

- ①政治家は有権者に寄附を「贈らない」
- ②有権者は政治家に寄附を「求めない」
- ③議員から有権者への寄附は「受け取らない」

みんなで「贈らない」「求めない」「受け取らない」の「3ない運動」を徹底しましょう。



高校生と岩国市議会との座談会【11月4日(土)】

選挙年齢の引下げにより政治や選挙が身近になった高校生に、政治参画に対する意識を高めてもらうために、「高校生と岩国市議会との座談会」が岩国青年会議所により開催されました。岩国高校、岩国工業高校、岩国商業高校、岩国総合高校、高水高校、高森高校の市内6校から、合わせて12人の高校生が参加し、岩国市議会からは、正副議長及び各常任委員会委員長、議会広報特別委員会の委員が参加しました。高校生からは、「岩国市には若者が遊べる場所が少ないが、今後どうすれば若者が岩国市に残ってくれるようになるかと考えていますか」等のフレッシュな質問があり、市議会議員との活発な意見交換が行われました。



「議会広報特別委員会」行政視察【10月2日(月)～4日(水)】

議会広報特別委員会は、市民と議会の架け橋となるべく、一般質問のYouTube配信を開始するなど、議会を身近に感じてもらうための広報活動を推進しています。その一環として、議会だよりの刷新に取り組んでおられる「千葉県成田市」「埼玉県寄居町」「東京都西東京市」への行政視察を実施しました。視察の成果を踏まえて、これから、「読みやすく」「分かりやすく」「魅力的な記事で市民と議会をつなぐ」議会だよりのリニューアルを目指します。



「経済常任委員会」岩国商工会議所との意見交換会及び市内企業の訪問

○岩国商工会議所との意見交換会【令和5年10月30日(月)】

「令和6年度の岩国市への要望事項」について、経済面や観光面に焦点を絞り議論を行いました。

○PACRAFT株式会社訪問(長野)【令和5年10月26日(木)】

PACRAFT株式会社は、通津沖工業団地に立地する自動充填包装機のリーディングカンパニーです。若い人材の流出を防ぐための学生に向けた施策や、市外に転出された場合でも、将来は岩国市に帰って地元の企業で働きたいと思えるような環境づくりの必要性等についてお話を伺いました。

○株式会社メタ・インフォ訪問(玖珂町)【令和5年11月13日(月)】

株式会社メタ・インフォは、本市の中山間地域に初めてサテライトオフィスを開設したIT企業です。ウェブサイトの構築等の事業を行うほか、様々な地域活動にも取り組んでおられ、玖珂町を中心としたお店やイベント情報を掲載したホームページの作成や、高校生にITを身近に感じてもらうサマースクール、高齢者向けスマホ教室の開催などについてのお話を伺いました。



PACRAFT株式会社



株式会社メタ・インフォ

議場に心が和む「生け花」

12月定例会一般質問の間、「専心池坊」の方々に生け花を展示していただきました。



3月定例会のお知らせ(予定)

2月21日(水)	本会議 (開会 議案等上程 説明 質疑 委員会付託)
3月4日(月)	本会議 (一般質問)
5日(火)	本会議 (一般質問)
6日(水)	本会議 (一般質問)
7日(木)	本会議 (一般質問) ※予備日
11日(月)	本会議 (一般質問) ※予備日
12日(火)	経済常任委員会
13日(水)	教育民生常任委員会
14日(木)	建設常任委員会
15日(金)	総務常任委員会
22日(金)	本会議 (委員長報告 質疑 討論 採決 閉会)

※会期日程は、変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局にお問合せください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)



いわくに市議会だよりの表紙写真を公募しています!



議会事務局 議事課
TEL 29-5193

市民の皆様にも、より議会に興味を持ってもらうため、表紙写真の公募をしています。
発行予定日(6月1日、8月15日、11月15日、2月15日)の季節にあった風景や行事の様子を撮影した写真の御応募をお待ちしております。
詳しくはQRコードから公募要領を御覧いただくか、議会事務局までお問合せください。

編集後記

このたび新しく委員長を拝命させていただきました。

議会広報特別委員会委員の皆様と協力しながら、本委員会の目的である市民の議会及び市政への理解と関心を高め、市民と市議会との距離を縮め、「開かれた議会」を目指してまいります。

現在、委員全員で新しい編集方針を考えながら、読みやすい紙面について検討中です。今後随時、皆様に御報告させていただきます。

委員長 矢野匡亮

議会広報特別委員会

委員長 矢野 匡亮
副委員長 野本真由美
委員 川口 隆之

武田伊佐雄
長岡 辰久
広中 信夫
広中 英明
松川 卓司

目の不自由な方へ

いわくに市議会だよりの音声データを御希望される方は、議会事務局にお問合せください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

発行/岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5190 FAX(0827)21-1001
編集/議会広報特別委員会 印刷/フジ美術印刷株式会社 <https://iwakunishigikai.jp>



古紙パルプ配合率
70%再生紙を使用

※QRコードは縞デンソーウェブの登録商標です。

いわくに市議会だよりの令和6年(2024年)2月15日号